育ちと学びをつなぐ

―幼稚園・保育所・小学校 接続の手引き―

平成21年3月

鳥取県教育委員会

幼児教育と小学校教育をつなぐ

就学前の子どもたちは、幼稚園や保育所等から大きな期待と喜びをもって小学校へ入学します。

一方で、遊びや生活を中心とする幼児教育から教科等の学習を中心とする小学校教育への移行は、子どもにとって「戸惑いや不安」（段差）があるのも事実です。幼児教育から小学校教育への滑らかな移行を図ることは、教職員が相互の教育について知ることから始まります。

現在、県内の多くの幼稚園・保育所と小学校では、体験入学や行事を通した子ども同士の交流が行われています。小学校教員の保育体験研修や連絡会の開催などの取組を行っている地域もありますが、教職員の連携は十分とはいえず、幼児教育と小学校教育との相互理解が進んでいない現状があります。

このたび、幼稚園・保育所・小学校接続の手引き「育ちと学びをつなぐⅡ」を作成しました。平成１７年に配布した「育ちと学びをつなぐ」と併せて、幼稚園・保育所と小学校の連携が、より一層充実するためにお役立てください。

連携のステップ

連携を進める際の流れと連携内容を「ステップ」として示しています。

ステップ❶ 連携をはじめましょう····P2

☆計画を立てましょう
- ○情報交換をしましょう。
- ○連絡会をもちましょう。

○は、ステップのポイントです。

ステップ❷ 連携をすすめましょう····P3

☆具体的な連携・交流を考えてみましょう

子ども	○互恵性のある交流にしましょう。
教職員	○保育・教育内容や指導法の相互理解を深めましょう。
保護者	○見通しをもった子育てをしましょう。

ステップ❸ 連携をいかしましょう····P7

☆保育・教育の充実につなげましょう
- ○接続期の取組を工夫しましょう。
- ○体験入学の見直しをしましょう。

ステップ❹ 連携をひろげましょう····P8

☆家庭・地域・関係機関とつながりましょう
- ○家庭・地域・関係機関との連携を図りましょう。
  - ◆特別な配慮・支援を要する子どもの就学に向けて

幼児教育から小学校教育へ一貫した教育の推進

表紙写真／鳥取市立福部小学校・福部幼稚園・福部保育園

ステップ① 連携をはじめましょう

☆計画を立てましょう

①情報交換をしましょう

○園・学校便りや行事予定の交換
○行事に参加

②連絡会をもちましょう

○幼稚園・保育所と小学校の連絡会の開催

参加者：校長・教頭・１年担任
園(所)長・年長担任など

○連携担当者の決定
○園内・校内の連携体制づくり
○年間交流計画の作成

代表者だけでなく、多くの教職員がかかわるようにしましょう。

南小と竹田保育園との交流・連携について

☆印は保育園行事

月	交　流	連　携	担当･参加者
４月		入園式☆	校長
		入学式	園長
		年間計画および情報交換 第１回保小連絡会4/30	人権教育担当 特別支援担当 養護教諭
５月	1年生を迎える会☆ (5/20 9：30～)	園で、1年生が学校の様子や学習の様子を発表	1年担任
		5歳児健診5/15（午後）	特別支援担当 養護教諭

幼稚園・保育所・小学校が一緒になって、育てたい子どもの姿を確認しながら、交流内容に生かすこともできます。

保育のねらいや教科のねらいと照らし合わせながら計画を立てます。

＜事例：保小年間交流計画＞

車尾保育園･車尾小学校交流年間計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保育園	保育内容（5歳児）		学校へ行ってみよう 学校への興味や関心を持つ		プールを見に行こう 学校のプールの様子を見て期待や意欲を持つ		運動会を見に行こう 競技を見たり応援して雰囲気を楽しむ	自然の中で遊ぼう 一年生と仲良くなり学校生活への期待を高める	学校ってどんなところ 学校の様子を知り入学への期待や憧れをもつ			昔あそびをしよう 学校に親しみを持ち入学への期待を高める	
	関連行事	・入園式	・よもぎパン作り	・ちまき作り	・プール開き ・夏祭り		・親子運動会	・年長クラス、座談会	・感謝デー	・生活発表会	・もちつき ・正月遊び大会 ・米子市人権・同和教育研究集会	・作品展	・卒園式 ・修了式
保小交流	子ども		・散歩（小学校周辺） ・まちたんけん（2年）		・夏祭り（案内状） ・プール見学		・校庭であそぶ ・運動会（案内状）	・あそぼうあき（1年） ・音楽集会 ・フィールドワーク（6年） ・就学児健診（5年）	・1年、支援学級の授業体験	・生活発表会（案内状） ・授業見学		・体験入学 ・むかしあそび（1年）	
	教職員	・参観日	・1,2年担任との連絡会 ・参観日	・フリータイム参観日		・教員の保育参加		・1年担任との連絡会 ・「あそぼうあき」話し合い	・フィールドワークの発表会見学 ・保育士の授業体験 ・車尾小人権教育研究会 低学年部会参加 ・1年担任との連絡会 ・就学前連絡会		・「むかしあそび」話し合い ・米子市人権、同和教育研究集会	・参観日 ・就学前連絡会	
小学校	関連行事	・入学式 ・参観日	・参観日 ・なかよし運動会	・フリータイム参観日 ・プール開き			・運動会	・人権参観日 ・就学児健診 ・校区民運動会	・学習発表会 ・校内マラソン ・東山中学校区人権教育研究発表会	・もちつき大会	・米子市人権・同和教育研究集会	・新入生説明会 ・参観日	・卒業式 ・修了式
	生活科（1年生）	いちねんせいになったよ			わたしにもできるよ						むかしあそびをしよう	大きくなったね	
		あそぼうさがそう											
		あそびばへいこう	あそぼうなつ					あそぼうあき				あそぼうふゆ	
		おおきくなあれ											
		なつにさくはなをそだてよう			どうぶつだいすき				はるにさくはなをそだてよう				

資料／三朝町立南小学校・竹田保育園、米子市立車尾小学校・車尾保育園

ステップ② 連携をすすめましょう

子ども ○互恵性のある交流にしましょう。

交流をすることで・・・

【幼児】

○小学校入学への期待が高まります。
○小学生を身近に感じ、あこがれや夢をもちます。
○毎日の遊びが広がります。

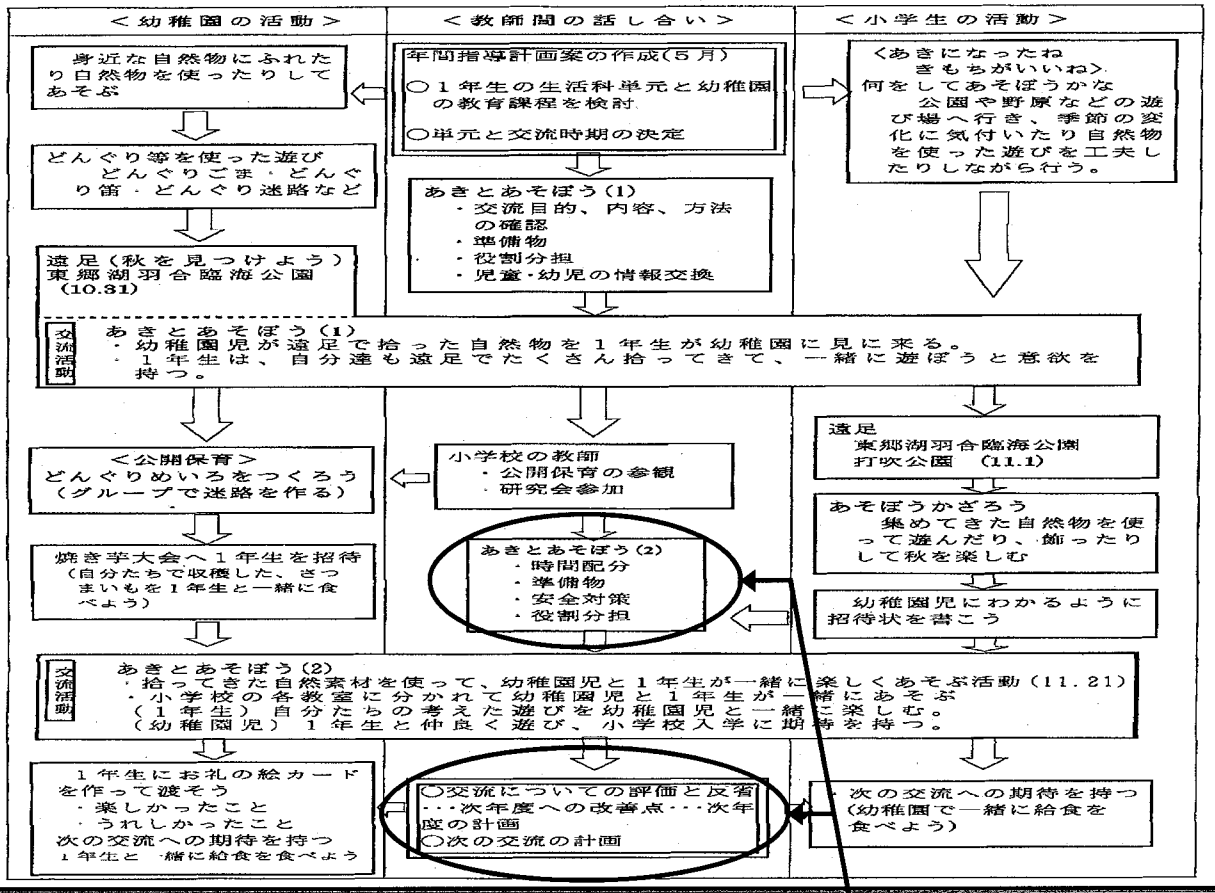
交流をすることで・・・

【小学生】

○幼児に対する思いやりの気持ちをもち、役立ち感を味わいます。
○課題意識をもって取り組み、主体的に学ぶ意欲や態度が育ちます。

＜事例：生活科など教科を通して＞

「自然物を使ってあそぼう」交流の流れ（北条幼稚園・１年生）



・幼児期、児童期のそれぞれの発達や生活時程など保育と学習の状況に合わせた無理のない交流活動になるようにします。
・ペアを固定し１対１のかかわりを深めるなど、ねらいに沿った交流の形態を考えます。

事前の打合わせで交流活動のねらいや内容、役割分担を確認します。
交流後は活動を振り返り、課題を明確にして次回の活動に生かします。

写真・資料／北栄町立北条小学校・北条幼稚園

「里帰り交流会」とは、１年生になった児童が、自分の卒園した園を訪問し、幼児との交流を深める活動です。

交流活動が互いの学びの場になるようにします。

＜事例：生活科など教科を通して＞

平成２０年度『大栄小学校区 里帰り交流会』について

1　場　所　　大栄小学校区の４保育所（栄、大誠、大谷、由良）
2　参加者　　大栄小学校１年生児童（８９名）引率教員４名（各保育所に１名）
　　保育所幼児（５歳児または以上児）、保育士
3　ねらい　　１年生：保育所での発表や幼児とのあそびを通して交流する中で、小学校入学から７ヶ月間の学習や生活を通して身につけた力への自信を深めたり、友だちや幼児と協力して活動したりすることに喜びを感じる。
　　幼　児：小学生の発表を見たり、自分たちの発表を見てもらったりする中で、友達と力を合わせて発表することの楽しさを感じたり、小学生と一緒に好きな遊びをする活動を通して、小学生の姿に憧れをもち、小学校入学に向けての期待を膨らませる。

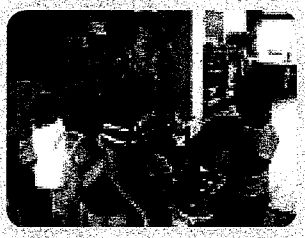
4　活動の流れ

時　間	内　容		備　考
９：００～	【児童】 ○出発 約束の確認（８：５０～） 出発 １号車（由良、大谷） ２号車（大誠、栄）	【幼児】 ○登園 朝の会 ・活動の準備など	
９：３０～	①はじめの会〔司会：１年生、指導：小学校教諭〕 幼児代表あいさつ 保育所長あいさつ １年生代表あいさつ 引率教諭あいさつ		・子どもたちが落ち着いた状態で会を始められるように配慮する。
９：４０～	②小学生の発表（発表と感想を含めて約１０分） 感想（幼児、保育士ほか）		・発表の内容は、学習発表会で披露したようなもの
９：５０～	③幼児の発表（発表と感想を含めて約１０分） 感想（小学生、引率教諭ほか）		・園独自の活動や、運動会や発表会で披露した（する）ようなもの
１０：００～	④みんなであそぼう〔進行：保育士〕 〔例〕・リズム　・ジャンケン列車 ・綱引き　・リレー　ほか		・参考例の他に、園独自の活動等があれば内容の変更可
１０：１５～	⑤もっとあそぼう（コーナーあそび など） 〔例〕外・・・固定遊具を使ったあそび（鉄棒、運てい、登り棒） 虫探し、かけっこ、砂場あそび、ドッジボール 内・・・お絵かき、粘土、ブロック、読み聞かせ ※小学生は、幼児の希望をもとに事前にあそびを選択しておく		・本交流のメインの活動と位置づけたい ・児童と幼児のふれあいの中で、交流のねらいが達成できることをねらいたい
１０：５０～	⑥終わりの会〔司会：１年生、指導：小学校教諭〕 １年生代表あいさつ 引率者あいさつ 幼児代表あいさつ 保育士あいさつ ※活動の流れ次第では外でも		・感想の中に、活動の肯定的な評価を入れることで、交流会のめあてを達成できたことを伝え、児童・幼児の今後の意欲の高揚を図る
１１：１０～	○出発 学校着（１１：３０）	○見送り 振り返り	・交流後にお礼状を贈り、感謝の気持ちを伝え合う

＜事例：委員会活動を通して＞

福部幼稚園・小学校の読書交流

1　ねらい
　幼稚園：小学生による読み語りを聞いて、「おはなしの世界」に興味をもつ。
　　小学校への入学の期待を膨らませる。
　小学校：幼稚園児への読み語りを通して、「相手にあった話し方」ができるようにする。
　　来年度、幼稚園児を迎え入れるに際して、上級生としての気持ちを高める。
2　場　所　福部幼稚園
3　内　容
　・小学校図書委員会（4年4名、5年2名、6年2名　計8名）による読み語り
　・読み語りに使用する図書は委員会児童が選定し持参。図書の読み語り、ペープサート、手作り紙芝居、クイズなど。
　・小学校引率　図書館司書教諭、図書委員会担当教諭（教務主任、５年生担任）
4　活動の流れ
　１３：３０　図書委員８名小学校玄関集合
　１３：４０　幼稚園着
　１３：４５　幼稚園児とあいさつ、自己紹介
　　３グループに分かれ、順に読み語り(絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサート)を行う。
　１４：１０　幼稚園児と一緒に遊ぶ。(遊戯室、保育室でボール遊び、ままごとなど)
　１４：３０　幼稚園児とあいさつ、幼稚園発
　１４：３５　学校着



その他の交流として
- 総合的な学習の時間
- 学校行事
- クラブ活動
- 学校・園・地域の施設を利用

などがあります。

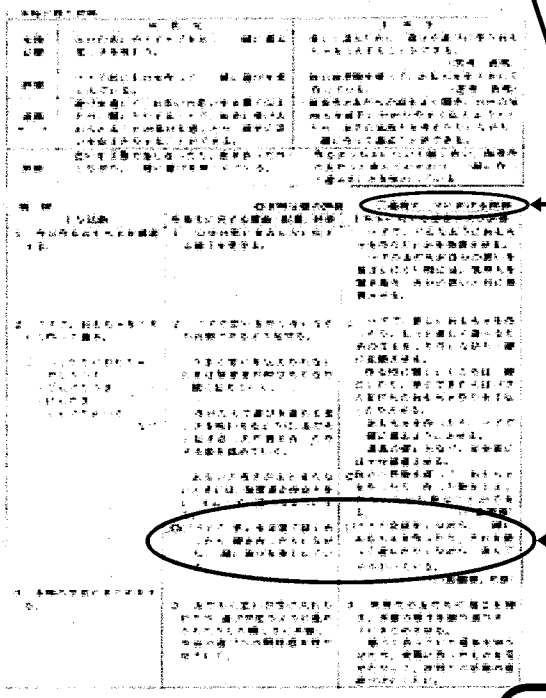
写真・資料／北栄町立大栄小学校・大栄小学校区４保育所（栄・大誠・大谷・由良）、鳥取市立福部小学校・福部幼稚園

教職員　○保育・教育内容や指導法の相互理解を深めましょう。

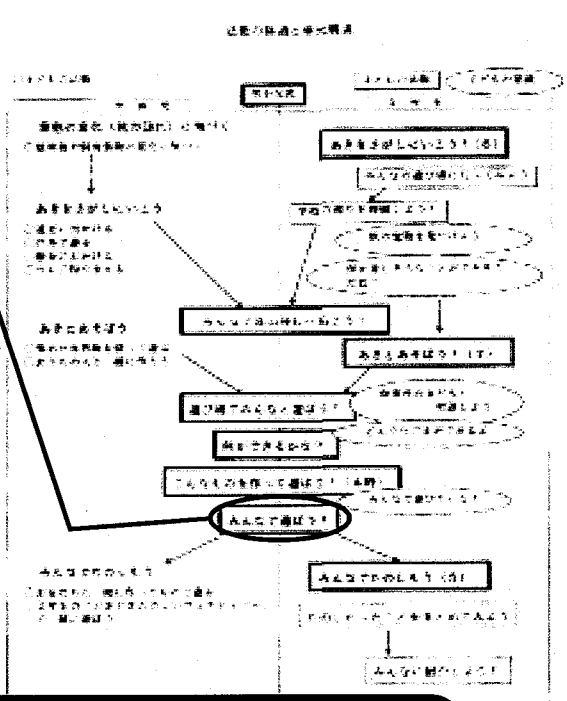
交流・連携をすることで・・・

○子どものよさに気づくことができます。
○子どもの発達過程を理解し、見通しをもった保育・教育を進めることができます。
○地域の子どもを育てる意識が高まります。

＜事例：保育所・小学校の合同活動指導案＞

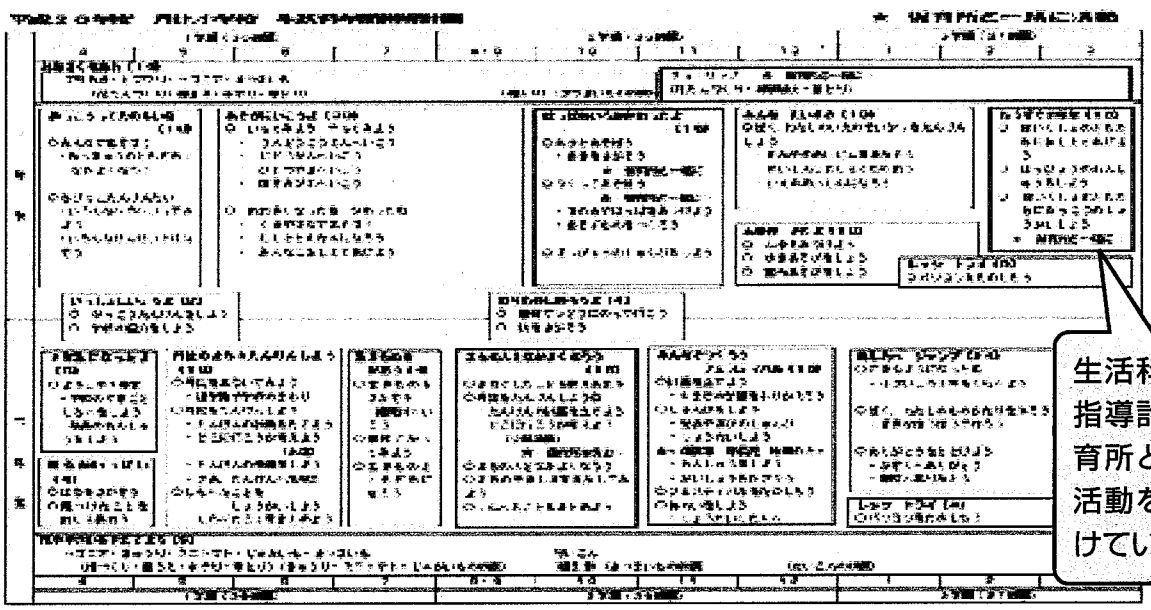


＜事例：合同活動の単元構想図＞



参観する視点を決めておくと話し合いが深まります。

＜事例：生活科年間指導計画＞



生活科の年間指導計画に保育所との合同活動を位置づけています。

写真・資料／八頭町立丹比小学校・丹比保育所

保護者 ○見通しをもった子育てをしましょう。

交流・連携をすることで・・・

○基本的生活習慣の定着が学力の土台になることなどが分かり、家庭教育を見直す機会となります。
○新１年生保護者の不安が軽減されます。
○保護者同士のつながりが生まれます。

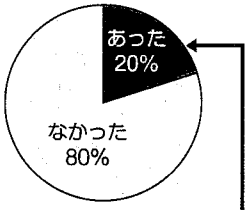
＜先輩保護者との座談会＞

卒園児とその保護者に入学後の生活についてアンケートを実施し、その結果を年長児保護者座談会資料として活用することができます。先輩保護者を招き、体験を交えた話を聞くこともできます。

～アンケートの結果と座談会資料～（抜粋）

＜小学校１年生用＞

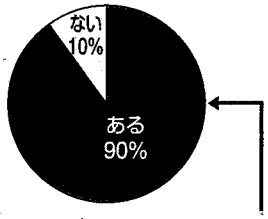
・学校で困ったことがありましたか？



・放送が聞こえにくかった。でも、恥ずかしくて聞けなかった。
・人がしゃべっていて先生の話が聞こえない。後で友だちや先生に聞いた。
・隣の人が知らない人で困った。話しかけたら友だちになれた。

＜保護者用＞

・入学までに身につけさせたかったことはありますか？



・早寝早起き
・返事、簡単な質問に答えられる。
・自分のことを僕、私と言う。
・イスに座る習慣
・箸の持ち方
・朝洗顔、歯磨き、身支度を自分でする習慣
・45分の授業時間落ち着いて取り組めるようにする。
・名前が書けてひらがなが読める。
・集中力
・場面に応じたあいさつ

～保育園でできること～

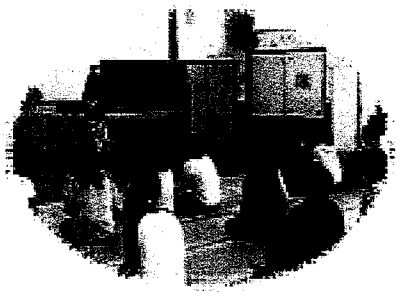
・時間を意識して生活する。
・思ったことを人に分かるように伝える。
・いす・机に慣れ、話を聞く態度を身につける。
・数・文字への興味を高める。
・持ち物の整理整頓をする。
・基本的生活習慣を身につける。

アンケートの結果や分析したことから家庭と連携して取り組むことや園が重点化することが具体的に見えてきます。

～家庭でできること～

入学までに家庭でできることについて意見を出し合うことで、保護者にできることから始めようという意欲や一緒に取り組もうという保護者同士のつながりが生まれます。

＜小学校の教員による子育て講座＞



乳幼児期の親子のかかわり方が児童期の成長に影響を及ぼすという話を小学校教員に聞くことは、子育てを見直す機会になります。子どもが入学する小学校側からの話は、より切実に保護者に伝わります。

＜幼稚園・保育所の保護者向け学校公開＞

小学校での学習や生活の様子を公開することは、保護者の入学に対する不安の軽減や小学校教育の理解につながります。

＜幼稚園・保育所の保護者に学校行事の案内＞

幼稚園や保育所、小学校の行事についての情報を互いに園・学校便り、お知らせ黒板などで発信し合います。行事に参加する機会をもつことにより、保護者・地域のつながりが一層深まります。

写真・資料／倉吉市立関金小学校、三朝町立南小学校、北栄町立由良保育所、車尾保育園

ステップ③ 連携をいかしましょう

☆保育・教育の充実につなげましょう

接続期は子どもたちにとって新しい環境に滑らかに適応していくための大切な準備期間です。

幼稚園・保育所（５歳児後半） → 小学校（入門期）

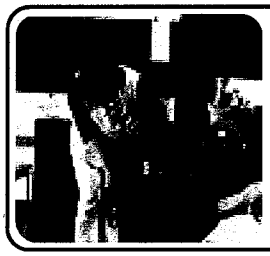
接続期

○接続期の取組を工夫しましょう。

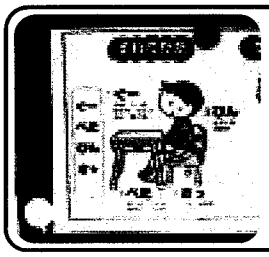
＜事例：接続期の工夫＞

○話をしっかり聞いたり話したりするために

保育所では



話したくなるような体験をすること、話す場を設定すること、聞いてくれる保育士や友だちがいることが大切になります。



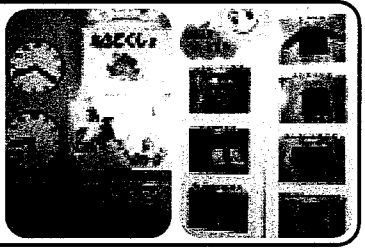
園と小学校が共通した掲示物を使うことで、子どもたちの意識が高まります。

○時間を意識したり見通しをもって活動するために

小学校では

掲示物の工夫

日程などの時間的な見通しや手順を示す時は、写真や絵など視覚に訴える掲示を工夫します。



1単位時間の学習の工夫（国語科の例）

本を読む	一斉活動を短くする。
課　題	子どもの実態に合わせて内容や量を工夫する。
個別の課題	
自由学習	時間いっぱい活動するのではなく、自由な時間をもつ。

○体験入学の見直しをしましょう。

＜事例：体験入学の見直し＞

○基本的生活習慣と学習のつながりを生かすために

幼児期における基本的生活習慣の定着が小学校の学習や生活の基盤になります。

生活の場を整える、掃除をする、時間を意識するなどいろいろな体験が考えられます。

10：45	各保育所から保育士と徒歩で小学校へ
11：00	小学生と対面・学習に参加
	昼食
13：10	養護教諭による歯磨き指導
	小学生と一緒に掃除
	就学時健診へ

小学校の生活時程に合わせて活動を計画します。

学校栄養職員や栄養教諭と連携し、学校給食を体験することもできます。

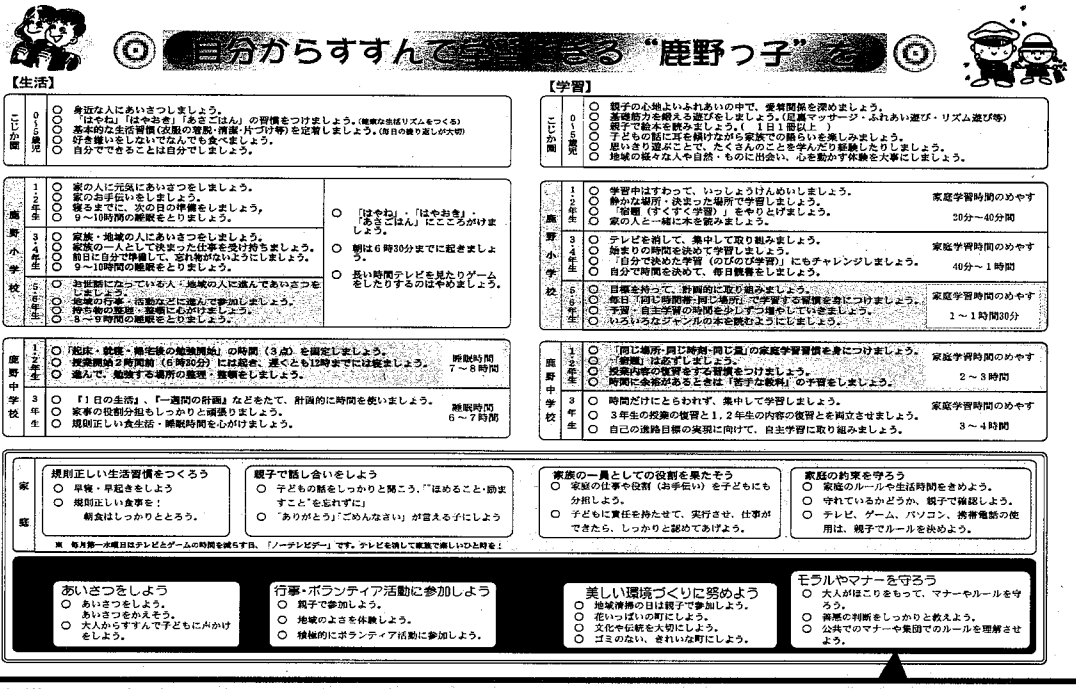
写真・資料／琴浦町立赤碕小学校、大山町立大山西小学校、大山町立中山小学校・大山町立下中山保育所

ステップ④ 連携をひろげましょう

☆家庭・地域・関係機関とつながりましょう

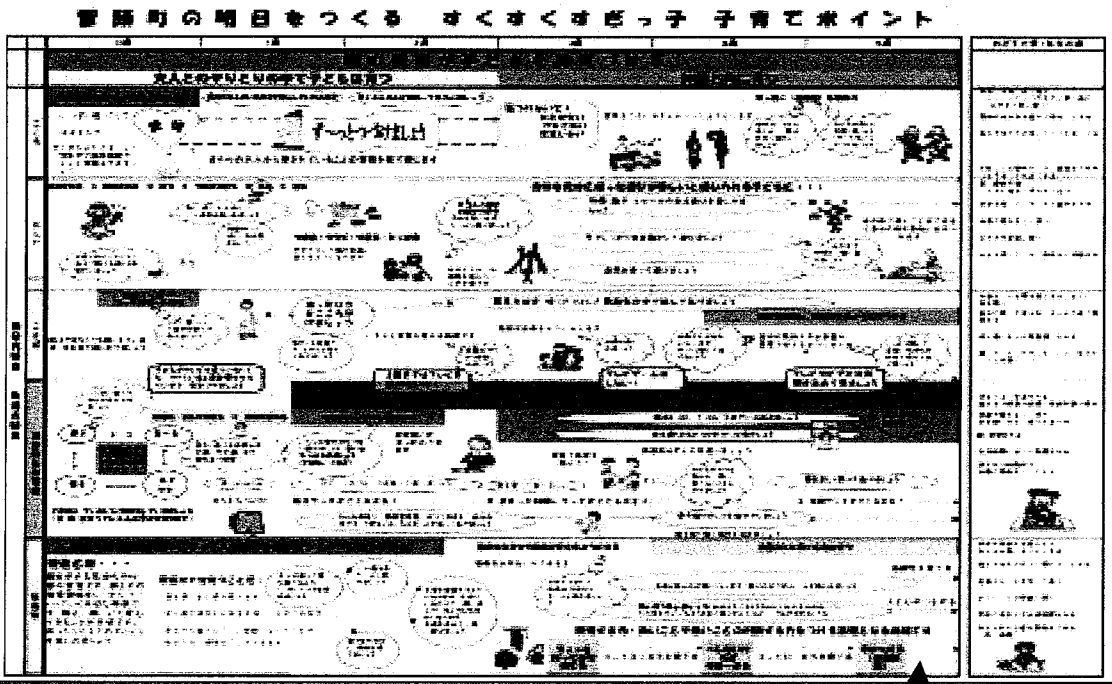
○家庭・地域・関係機関との連携を図りましょう。

＜事例：中学校区でつながって＞



幼稚園・保育所・小学校・中学校が連携して、「生活面」「学習面」から発達段階に応じた目標を示した啓発パンフレットを作成しました。

＜事例：町でつながって＞



保育園・小学校・教育委員会等の関係者が協働して、発達段階に応じた子育てポイントを示し、家庭との連携を図っています。

資料／トリニティープランしかの推進委員会、智頭町

◆特別な配慮・支援を要する子どもの就学に向けて

幼稚園・保育所と小学校との連絡会は、特別な配慮・支援を要する子どもたちの状況を把握し、適切に対応していくための体制作りにも効果を発揮します。就学に向けて幼稚園・保育所での支援状況の把握、学習環境の整備、関係機関との連携など、幼稚園・保育所と小学校が計画的に準備を進めていくことができます。個別の教育支援計画や個別の指導計画などを活用し、より計画的・組織的に就学に向けた準備を進めていきましょう。

＜事例：小学校の就学に向けた保育所との連携計画＞

会議・行事	内容や目的	出席者	担当者
５歳児健診に係る関係機関連絡会（５月下旬）	・健診を通して見える子どもの状況や気になる子どもの情報交換 ・関係機関の連携方法の確認	教頭　養護教諭 特別支援教育主任 園　担当課　地教委	特別支援教育主任
保育園訪問（夏季休業中）	・保育園での保育の様子 ・５歳児の情報収集	全職員	教頭 生徒指導主任 特別支援教育主任
	・小学校の児童の情報・意見交換 ・関係機関の情報をもとにした観察	校長　教頭 特別支援教育主任 養護教諭	
就学時健康診断に係る関係者打ち合わせ	・就学時健診の実施計画 ・配慮を要する子どもや保護者相談ついての打ち合わせ	教頭　養護教諭 園　地教委 特別支援教育主任	養護教諭

就学時健康診断 10月

保小連絡の会　①　10月	・健診結果を受け、就学指導へ	教頭　養護教諭　園 特別支援教育主任 ２年主任　地教委	教頭　養護教諭 特別支援教育主任
保小連絡の会　②　1月	・特別な配慮・支援を要する子どもへの対応	教頭　養護教諭　園 特別支援教育主任 ２年主任　地教委	教頭 特別支援教育主任
保小連絡の会　③　2月	・学級編成 ・体験入学と保護者説明会	教頭　養護教諭　園 特別支援教育主任 ２年主任	教頭 特別支援教育主任

入学児童体験入学 2月

入学保護者説明会 2月

定期的な連絡会は組織を効果的に動かします。

内容に応じていろいろな人が関わることで連携がより深くなります。

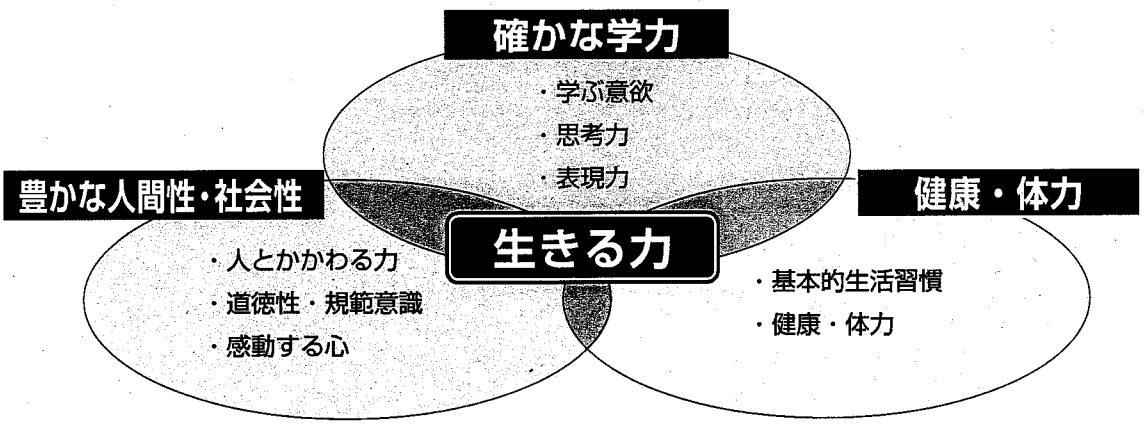
（参考）本人・保護者・学校等のための個別の教育支援計画 ―策定マニュアル―
鳥取県教育委員会特別支援教育課 平成20年12月

資料／南部町立西伯小学校

幼稚園や保育所での生活や育ちが基礎になって、
小学校での学習や生活につながります。

子どもの育ちと学びの連続性

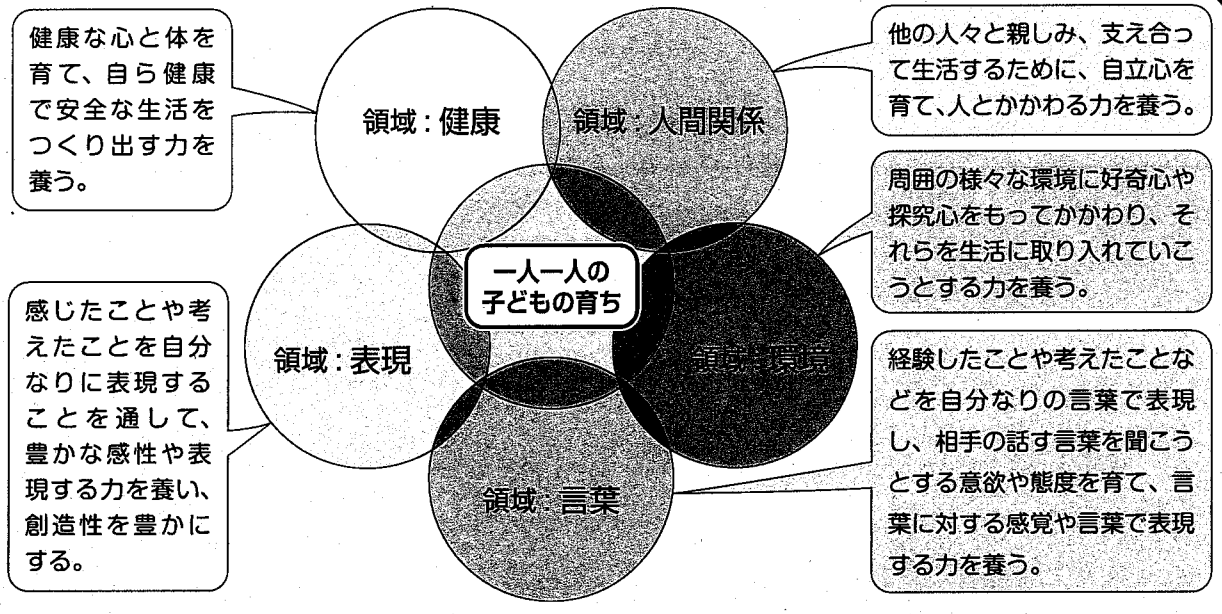
小学校



教　科	道 徳	特別活動	
・国語　・図画工作 ・社会　・家庭 ・算数　・体育 ・生活　・音楽 ・理科	・道徳の時間 ・教育活動全体	・学級活動 ・児童会活動 ・クラブ活動 ・学校行事	・総合的な学習の時間 ・外国語活動

教科・領域等を通しての指導（小学校学習指導要領）

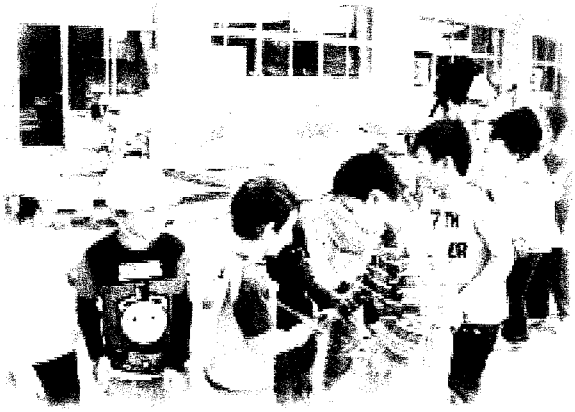
幼稚園・保育所



遊びを通しての総合的な指導（幼稚園教育要領・保育所保育指針）

生きる力の基礎を育成

裏表紙写真／北栄町立大栄小学校・由良保育所



発　行

鳥取県教育委員会事務局小中学校課

〒680-8570　鳥取県鳥取市東町１丁目２７１

ＴＥＬ：０８５７－２６－７５１２

ＦＡＸ：０８５７－２６－８１７０

E-mail：　shouchuugakkouka@pref.tottori.jp